

地域資源と油脂を組合せた暑熱期肥育豚への給与技術

佐賀県畜産試験場
(独)農研機構 九州沖縄農業研究センター



飼料用米、大麦および製茶加工残さなど地域資源を主体とした肥育豚用飼料に油脂(パーム油)を配合することで、暑熱期に見られる枝肉中の過剰な脂肪蓄積が抑えられ、良好な枝肉成績を示し、官能評価でも高評価が得られました。

1 課題の背景

佐賀県では、輸入飼料の高騰対策や安心・安全な畜産物の提供をめざし、県内で生産される飼料用米、大麦および製茶加工残さ等の「地域資源」を肥育豚用飼料として利活用する研究を進めてきました。

一方で、暑熱環境下の肥育豚は食欲が低下し、摂取エネルギー不足になる可能性が指摘されています。そこで、地域資源主体の肥育豚用飼料にエネルギー源として油脂(パーム油)を段階的に配合し、飼養成績および枝肉成績に及ぼす影響を検討しました。

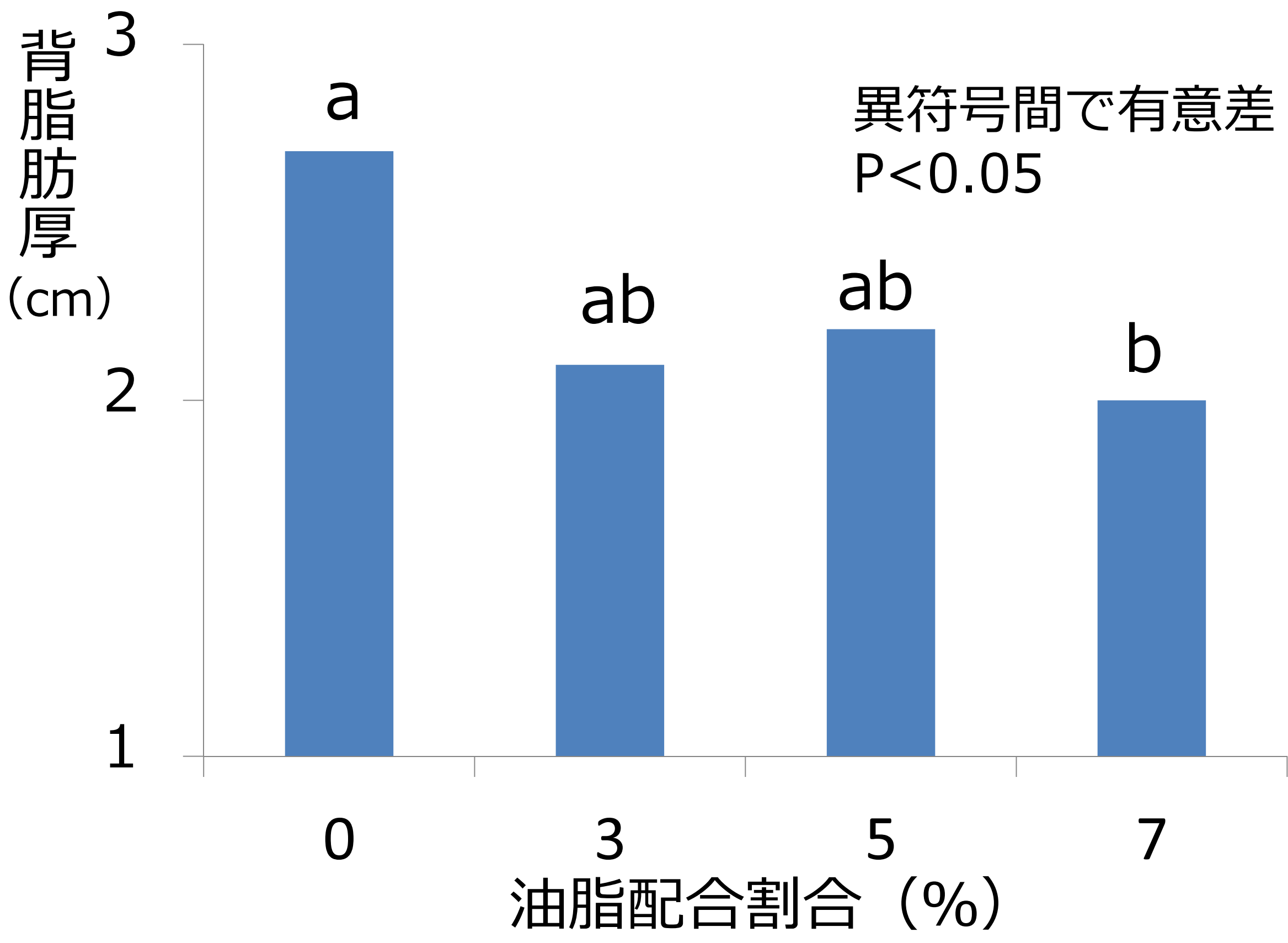


製茶加工残さ

2 飼料配合設計(肥育後期飼料)

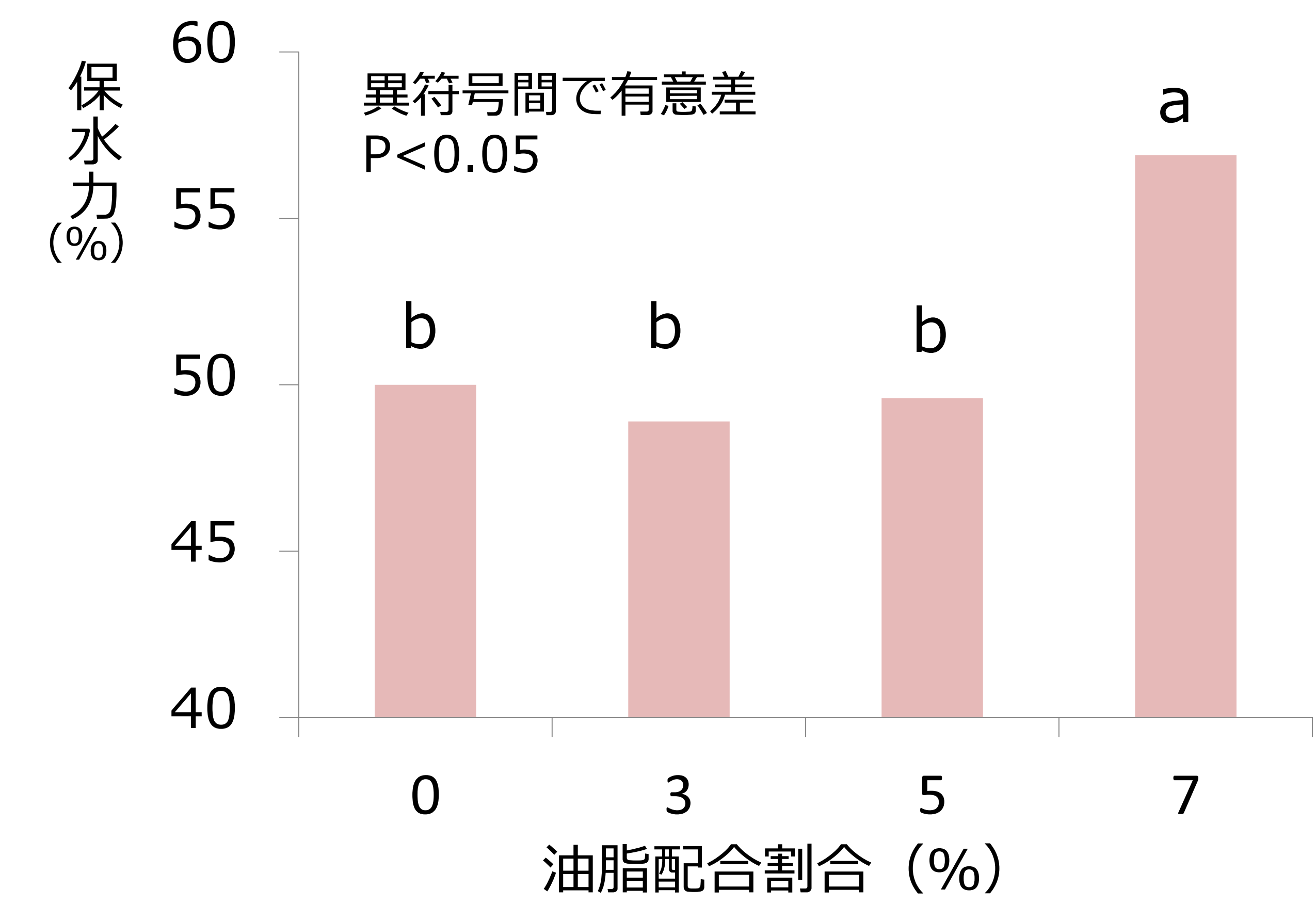
	油脂配合割合 (%)			
	0	3	5	7
トウモロコシ	20.7	17.7	15.7	13.7
飼料用米	40.0	40.0	40.0	40.0
大麦	15.0	15.0	15.0	15.0
製茶加工残さ	1.0	1.0	1.0	1.0
油脂 (パーム油)	0.0	3.0	5.0	7.0
大豆粕他	23.3	23.3	23.3	23.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0
TDN	75.6	79.6	82.4	85.1
CP	16.6	16.4	16.2	16.1

3 油脂配合が枝肉成績に及ぼす影響



飼養成績に油脂添加の効果はみられませんでしたでしたが、油脂を配合することで、脂肪の過剰な蓄積が抑えられました。

4 油脂配合が肉質に及ぼす影響



油脂を配合することで、肉のジューシーさの指標となる保水性が改善されました。

5 官能評価

項目	回答数 (n)	油脂配合割合 (%)	
		0	7
味	92	30	62*
香り	90	28	62*
食感	92	45	47
総合評価	92	32	60*

*P<0.05



油脂を配合した肥育豚のロース肉は、「味」「香り」および「総合評価」の3項目で好まれる結果となりました。